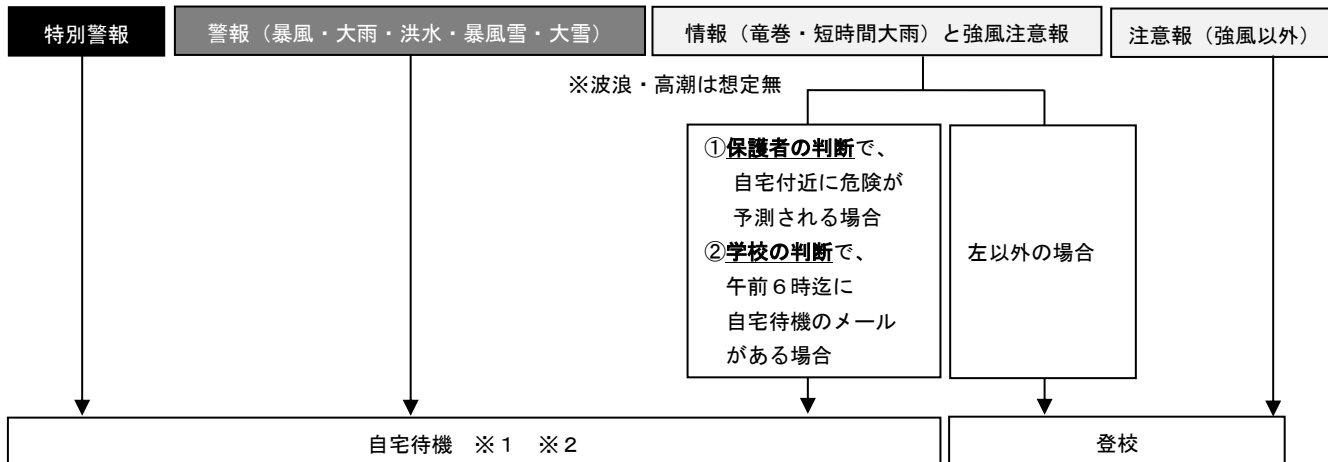


気象警報等に関する緊急時の対応

気象警報等への対応を次の通りとします。

■登校前

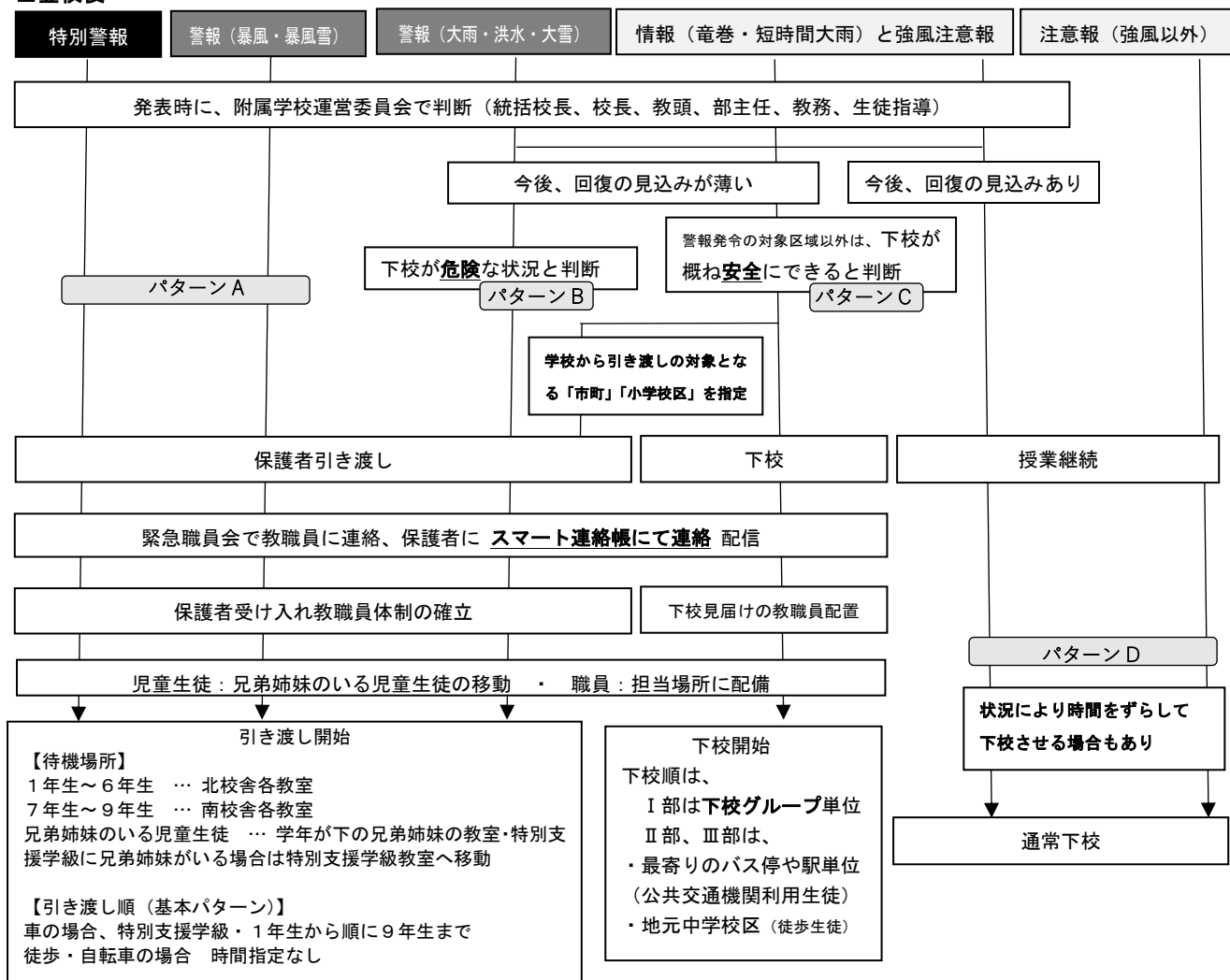


※1 自宅待機の場合、原則解除後2時間後に授業開始予定です。ただし、解除が午前10時を過ぎた場合は休校とします。

※2 岐阜市で警報が発令されている場合は、本校のすべての児童生徒に※1を適用します。

また、本校児童生徒が居住する校区（羽島市 各務原市 山県市 瑞穂市 本巣市 羽島郡 本巣郡）の市町で警報が発令されている場合には、市町単位で児童生徒に※1を適用することを原則とします。

■登校後



□登校後に気象警報（注意報も含む）が発令された場合の、学校と保護者の連携及び対応

学 校 は、どのパターンで対応するかをスマート連絡帳により連絡を入れる。

→ パターンA・Bの場合は、引き渡しの時刻及び留意事項等を連絡

→ パターンCの場合は、引き渡しを指定する市町及び区域（小学校区）、留意事項等を連絡

※ 気象庁が発表する気象情報：「危険度分布」を参照し、赤（警戒）以上が含まれる区域（小学校区）を指定することを基本とします。（流動的ではあるが、ある時間の状況をもとに判断）

→ パターンDの場合は、下校の時間の変更等について連絡

保護者 は、メールを受けて、各パターンに沿った対応をする。

→ パターンA・Bの場合は、引き渡しの準備・対応

→ パターンCの場合で（スマート連絡帳で）引き渡しの指定があった場合、引き渡しの準備・対応

※ 必ず、引き渡し時刻をメールで返信してください。

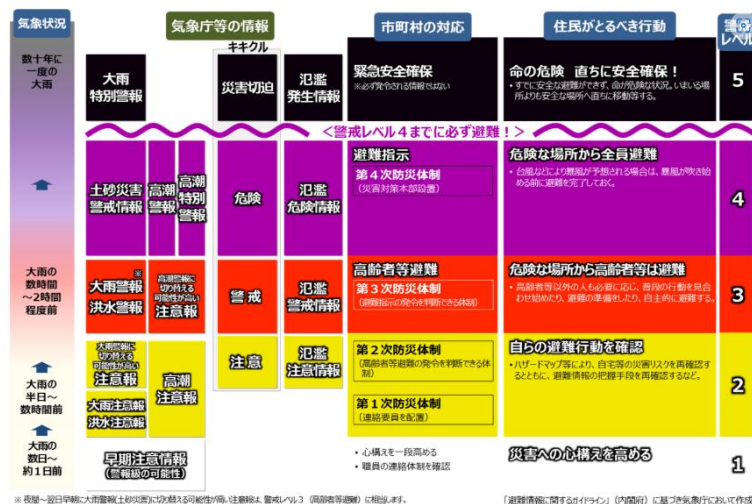
※ 引き取りの登録がされている保護者に、学校より「引き渡し確認証」を配付します。引き取り時には、車内の見えやすい場所に確認証を置き、職員に提示してください。確認証は、校舎1階教室入口、児童生徒昇降口、体育館入口までお持ちください。

※ 「危険度」の程度に関わらず、迎えによる下校が安全とご家庭で判断された場合も、その意向をメールで返信してください。

【緊急時 児童生徒引き渡しの場合における自家用車・徒歩の動き】



※ 引き渡しは、加納小学校等においても並行して実施される場合が十分想定されます。



色が持つ意味	状況	住民等の行動の例※1	内閣府の 防災マニュアル等 安全への目安と される 避難指示	相当する 警戒レベル
災害切迫 大規模自然災害 の発生が、避難区域 に高い集中度 で発生する	命に危険が及ぶ土砂災害が切迫。土砂災害がすでに発生している可能性が高い状況。	(立退き避難が完了して危険な場合) 命の危険 高5に身の安全を確保！	緊急安全確保 高5以上	5 相当
＜警戒レベル4までに必ず避難！＞				
危険 土砂災害発生時の被害 が、迅速に拡大する	命に危険が及ぶ土砂災害が切迫発生しており、深刻な状況。	土砂災害警戒区域等への外避難する。	避難指示	4 相当
警戒 2020年7月1日より開始 される。迅速な対応が必要。	土砂災害への警戒が必要となる状況。	高齢者等は土砂災害警戒区域等への外避難する。 高齢者等以外の方も、身の安全を確保し、避難の準備をしたら、自ら避難の判断をする。	高齢者等 避難	3 相当
注意 2020年7月1日より開始 される。迅速な対応が必要。	土砂災害への注意が必要となる状況。	ハザードマップ等により避難区域を確認する。 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	2 相当
今後の 情報等に留意	—	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	—

色が持つ意味	住民等の行動例※	想定される周囲の状況例
災害切迫 大雨の浸水被害（浸水等）の 危険に陥る可能性に 状況が関連	（立派な道路からつなぐ危険な場合） 命の危険 直ちに身の安全を確保！ 【警戒レベル5相当】	重大な浸水被害が切迫。浸水被害がすでに発生している 可能性が高い状況。
※警戒レベル4までには必ず避難！		
危険 1時間以上または 数時間以上浸水、超過浸水 被害に到達する可能性	道路の状況を確認し、各自の判断 で、屋内の浸水が及ばない範囲に 移動する。	道路が一帯冠水し、側溝やマンホール場所が分らなくなる おそれもある。道路冠水等のおおむね鉄道やバスなどの 交通機関の運行に影響が出るおそれがある。周囲より 低い場所にある多くの家庭が、床上まで水に浸かるおそれ がある。
警戒 1時間以上または数時間 前後に到達する可能性	安全確保行動をとるを準備が整い た後、早めの行動をとる。高齢者等 は遅やかに安全確保行動をとる。	側溝や下水が溢れ、道路が冠水し冠水してもおこくはない。 周囲より低い場所にある家庭が、床上まで水に浸かる おそれがある。
注意 1時間以上または数時間 前後に到達する可能性	今後の情報や周囲の状況、雨の 降り方は注意。ただし、各自の判断 で、住宅の地下室から地上に 移動し、道路のアンダーパスには 近づかないようにする。	周囲より低い場所でも側溝や下水が溢れ、道路が冠水 するおそれがある。住宅の地下室や道路のアンダーパスに 水が流れ込むおそれがある。周囲より低い場所にある 家庭が、床上まで水に浸かるおそれがある。
今後の 情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の 降り方に留意。	普段と同じ状況。雨のときは、雨水が周囲より低い場所 に集まる。

色が持つ意味	状況	住民等の行動の例※1・2	避難所がいない状況での対応※3※4	相当する警戒レベル
災害切迫 大規模な被害 (浸水が深刻で、人命の被害に及ぶ可能性が高い状況)	重大な洪水災害が切迫し、洪水災害がすでに発生している可能性が高い状況。	(立退き避難がつかえて危険な場合) 命の危険 直ちに命の安全を確保!	緊急安全確保 ※5	5相当
※警戒レベル4までに必ず避難!				
危険 大規模な被害 (浸水が深刻で、人命の被害に及ぶ可能性が高い状況)	水位増加河川・その他河川がすでに増水し、今後深刻し、重大な洪水災害が発生する可能性が高い状況。	水位が一定の水位を超えている場合には、安全な場所へ避難する。※3	避難指示	4相当
警戒 大規模な被害 (浸水が深刻で、人命の被害に及ぶ可能性が高い状況)	洪水災害への警戒が必要な状況。	水位が一定の水位を超えている場合には、高齢者等は安全な場所へ避難する。※4 高齢者等以外の方も、普段の行動を合わせ始めたり、避難の準備をすすり、自ら避難の判断をする。	高齢者等避難	3相当
注意 大規模な被害 (浸水が深刻で、人命の被害に及ぶ可能性が高い状況)	洪水災害への注意が必要な状況。	ハザードマップ等により避難行動を確認する。 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	2相当
今後の情報に注意	—	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	—

【引用資料URL】 <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/riskmap.html>